

# 第25回再処理・リサイクル部会 全体会議 議 事

1. 部会長挨拶
2. 2013年度活動中間報告と今後の計画
3. 第9回再処理・リサイクル部会セミナー報告、  
第5回ぎんぎんセミナー報告及びWG等の活動報告 等
4. 2013年秋の大会 部会企画セッション案内
5. その他

# 1. 部会長挨拶

**再処理・リサイクル部会**

**井上 正 部会長(電中研)**

## 2. 2013年度活動中間報告と今後の計画

- (1) 4月 拡大運営小委員会・・・平成25年度活動・予算計画、  
再処理・リサイクル部会セミナー準備

他

- (2) 6月 第9回再処理・リサイクル部会セミナー

- (3) 7月 拡大運営小委員会・・・全体会議、ぎんぎんセミナー準備 他

- (4) 8月 第5回ぎんぎんセミナー

----- ここまで実績 -----

- (5) 9月3 第25回部会全体会議(八戸工大)

- (6) 9月29日～10月3日 GLOBAL2013(米国)

- (7) 9月 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー報告 他

- (8) 12月 拡大運営小委員会・・・活動/予算(H24実績とH25計画)、

- (9) 2月 拡大運営小委員会・・・全体会議準備

- (10) 2月 平成25年度 再処理リサイクル部会 部会賞決定

- (11) 3月 第26回部会全体会議(東京都市大)

- (12) その他 課題議論WG、SA研究WG、テキスト作成WG

- (13) その他 クリーンアップ分科会に部会メンバー参加

# 3. 2013年度活動中間報告:トピックス(その1)

## (1) 第9回再処理・リサイクル部会セミナー:6月3日

- ・テーマ:再処理工場の事故対策
- ・参加者:約120名、ポスター出展数14件
- ・核燃料サイクル施設の新安全基準の検討が進む中、海外、国内の再処理工場の重大事故への備えをテーマに開催した。



また、エネルギー政策における原子力の課題や科学的・合理的な安全確保について、それぞれの専門家を招き講演を行なった。

## (2) 第5回ぎんぎんセミナー:8月19、20日

- ・テーマ:再処理における新しい技術
- ・参加者:約22名
- ・1日目は大学、JAEAおよびメーカーから研究紹介や研究開発の方向性についての講演があり、2日目は日本原燃から六ヶ所再処理工場においてこれまでに発生したトラブルについての講演が5件おこなわれた。希望者は、セミナー後に開催された日本原燃見学ツアーに参加した。



# 3. 2013年度活動中間報告:トピックス(その2-1)

## (3) 課題議論WG

### <活動報告>

ワーキンググループ開催前に、  
主査と幹事で幹事会を開き、運営の仕方を中心に議論している。  
今後、この議論を元にワーキンググループを開催し、  
課題を抽出すると共に、  
再処理あるいはもっと大きな視点で核燃料サイクルのあるべき姿を  
議論したいと考えている。

なお、このワーキンググループのメンバーは  
将来のことを議論するため、中堅および若手の研究者で構成している。

# 3. 2013年度活動中間報告:トピックス(その2-2)

## (4) SA研究WG

- ・核燃料サイクル施設における内的及び外的事象に起因する重大事故を科学的・技術的観点から選定する方法について検討中。
- ・「使用済燃料再処理施設の新規制基準(重大事故対策)骨子案」への意見提出(平成25年8月12日)。

### <要旨>

新規制基準が、科学的技術的に合理的であり、科学技術の進展を活かした継続的な安全向上を促すものとなることを願う観点からコメントする。

### <意見>

- (1) 福島第一原子力発電所事故の反省にたち、新たな安全確保対策を効果的なものとするには、安全性への影響の程度に応じたレベルとするグレースケッドアプローチにより、重要な部分に資源を配分することが望ましい。その考え方が活かされるよう可能な範囲で見直しを行って頂きたい。
- (2) 事業者が、将来にわたり科学技術の進歩を活かして一層効果的な安全確保対策を自助努力により導入できるよう規制基準は性能規定的であることが望ましい。その考え方が活かされるよう可能な範囲で見直しを行って頂きたい。

# 3. 2013年度活動中間報告:トピックス(その2-3)

## (5) テキスト作成WG

- ・趣旨: 燃料サイクルに関するテキストは既にいくつかあるが学会として情報発信したものがないことから、学会という中立・公正な立場で燃料サイクルに関する最新の技術の解説を主としたテキストを作成する。
- ・対象: 燃料サイクルに興味はあるが予備知識のない人
- ・内容: 第1章:原子力発電と核燃料サイクル  
第2章:ウラン資源  
第3章:ウラン濃縮  
第4章:核燃料加工  
第5章:使用済み燃料貯蔵  
第6章:核燃料再処理  
第7章:放射性廃棄物処理・処分

《再処理・リサイクル部会のHP (<http://www.aesj.or.jp/~recycle/top.html>)にて公開中。》

# 3. 2013年度活動中間報告:トピックス(その2-4)

## (6) クリーンアップ分科会での活動

- ①JA南相馬の協力のもと、Cs移行試験を継続(H24年度からの経年効果確認)。
- ②除染情報プラザへの専門家派遣継続(除染アドバイザーとして派遣)。
- ③学会事故調査委員会に参画し、報告書執筆。

### 【学会事故調査委員会報告書(クリーンアップ分科会/バックエンド部会 5.3 防災行動の詳細 /放射線影響分科会)】

#### 5.3.2 食品、飲料水の出荷制限等について

#### 5.3.4 放射性物質による環境汚染とその除染

### 6.8 放射線モニタリング、環境修復、除染活動

#### 6.8.1 環境修復後への初期の対応としての環境放射線モニタリング

#### 6.8.2 汚染された地域の除染対策 ー法体系とガイドラインについてー

#### 6.8.3 除染対象区域の設定

#### 6.8.4 政府、自治体の除染体制

#### 6.8.5 除染技術

#### 6.8.6 減容

#### 6.8.7 除染廃棄物等の仮置場・中間貯蔵施設・最終処分

#### 6.8.8 学会による環境修復への対応

# 3. 2013年度活動中間報告:トピックス(その2-5)

## ○主な課題と提案

- ・今後も長期間にわたる環境における放射性物質の分布の把握が重要であり、評価や推定に当たっては、実測に加えシミュレーション計算の活用も重要。
- ・追加被ばく線量が1mSv/y以上となる地域を一律に除染対象地域としたことに対し、線量や土地利用等に応じた、除染以外のオプションを含めた最良の選択(最適化)の検討が必要。
- ・効率的な線量の低減のために、今後、省庁間の連携を強めて地域の総合的な除染が必要。
- ・現地の状況に合わせた柔軟なガイドラインの適用、必要に応じて適切な時期における見直しの実施。
- ・除染に関するモデル事業、実証試験、新技術開発について、全体を俯瞰的に評価して今後の除染事業に反映する仕組みの構築。
- ・二次廃棄物発生量および経済性の観点から実用化できる廃棄物減容処理技術の開発が望まれる。
- ・仮置場及び中間貯蔵施設の設置・受入れに関する地元住民や関係者の理解とコンセンサスを得ることができるよう、国、自治体、原子力関係者、事業者などは最大限の努力を払うことが重要。

○東京電力福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会セッション  
平成25年9月4日(水) 14:40~16:40、A会場

## 4. 再処理・リサイクル部会企画セッション

### 「再処理施設の事故時評価と対策」

(9月3日(火) 13:00~14:30、M会場)

座長(長岡技術科学大学) 鈴木 達也

(1) 再処理施設の新安全基準の基本的な考え方と  
検討状況について

(原子力規制庁) 西村 正美様

(2) 六ヶ所再処理工場の重大事故に対する  
考え方と対策

(日本原燃) 青柳 春樹 様

# 5. 部会運営小委員会(2013.9.3)

部会長:	井上 正	(電中研)	
副部会長:	藤田 玲子	(東芝)	分担
運営委員:	梅田 幹	(原子力機構) . . .	庶務
	渡邊 大輔	(日立) . . . . .	庶務
	黒田 一彦	(三菱重工) . . . .	会計
	塚原 剛彦	(東工大) . . . . .	会計
	赤澤 孝	(関電) . . . . .	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	飯塚 政利	(電中研) . . . . .	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	稲垣 八穂広	(九大) . . . . .	企画(国際WS、ぎんぎんセミナー)
	染谷 浩	(三菱マテリアル) .	企画(部会セミナー、国際WS)
	加瀬 健	(原子力機構) . . .	企画(ぎんぎんセミナー、部会セミナー、部会HP)
	澤田 佳代	(名大) . . . . .	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	鈴木 達也	(長岡技大) . . . . .	企画(学会企画セッション、ぎんぎんセミナー)
	大西 貴士	(原子力機構) . . .	広報(ぎんぎんセミナー、部会セミナー)
	立花 武憲	(日本原燃) . . . . .	広報(部会セミナー、ぎんぎんセミナー)
	佐藤 修彰	(東北大) . . . . .	広報(国際WS、学会企画セッション)
	多賀 純一	(東芝) . . . . .	広報(学会企画セッション、国際WS)
	中熊 哲弘	(東電) . . . . .	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	齋藤 巖	(日本原燃) . . . . .	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	野上 雅伸	(近畿大) . . . . .	広報(学会企画セッション)
	日山 伸行	(原燃工) . . . . .	広報(部会セミナー、国際WS)

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員会/東電)、近藤駿介(原子力委員長)、田中知(学会福島特別プロジェクト代表)  
参与: 野村茂雄、小山智造、峯尾英章、天野治、駒義和、藤田雄二、森田泰治、松村達郎、小泉務、小山真一(JAEA)、鈴木一弘、鈴木一雄、富田邦裕、向原進、徳森律朗、山澤正俊(東電)、子安徹人(関電)、西村友宏(電中研)、池田泰久(東工大)、松本史朗(JNES)、田辺哲朗(九大)、山名元、白井理(京大)、山村力(東北大)、浅沼徳子(東海大)、波多野守(エネ総研)、倉重有幸(原燃工)、半沢正利、大場一鋭(MMC)、有田裕二(福井大)、森行秀(MHI)、深澤哲生、星野国義、鴨志田守(日立GE)、山田和矢(東芝)、中村裕行、加納正規(JNFL)